

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	近隣のご家族の協力をお願いして 毎日中訓練を行ってみる。	コロナ過の為、予約制の介護相談を行うなどして交流を持つ。訓練の必要性を訴えマンパワーとして 協力してくれる方を募る。	6ヶ月
2	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り 管理者と職員はその理念を共有して実践に繋げている。	一人一人が理念を理解する。	出勤時必ず理念を確認する。	1ヶ月
3	48	役割、楽しみ事の支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように一人一人の生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみ事、気分転換の支援をしている。	コロナ過ではあるが、施設内で季節を感じられる行事や食事の提供、また外部とのつながりを継続できるよう支援する。	旬の食材を用い、季節感を感じられる食事の提供、計画的な行事、テレビ電話で親しい人とのつながりを継続する。	1ヶ月
4	13	職員を育てる取り組み 代表者は管理者や職員一人一人のケアの実際と力量を把握し法人内外の研修を受ける機会の確保や働きながらトレーニングしていくことを勧めている。	リモート研修を取り入れて新しい知識情報を取り入れ周知実行する。	リモート研修が出来る環境を整える。	1ヶ月
5	15	初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で本人が困っていること、要望等に耳を傾けながら本人の安心を確保するための関係作りに努めている。	アセスメントシートの見直し、より詳細の生育歴などの情報を加え職員間で共有する。	多職種と連携を取り、多方面からアプローチし利用者のニーズを探る。	3か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。